事業概要　特定非営利活動法人遠野山・里・暮らしネットワーク

〒028-0514　岩手県遠野市遠野町28-5
TEL：0198-62-0601　FAX：0198-62-0602
E-mail：tourism@tonotv.com
http://www.tonotv.com/members/yamasatone

更新：R3.6

facebook 遠野山里ネット

理事・会員数　（2021 年 6 月現在）

会　長	菊池 新一
副会長	新田 勝見、徳吉 英一郎
理　事	荒川 栄悦、菊池 茂勝、糠森 隆、奥寺 晴夫、佐々木憲康、小笠原 晋、菅原 卓、菊池 貴久子、浅沼 亜希子
監　事	菊池 千恵子、佐々木 康行
会員数	68名（うち正会員43名）
事務局	7　名

沿　革

2003年3月24日	設立総会
2003年6月16日	特定非営利活動法人登記完了
2003年7月13日	設立記念認証シンポジュウム
2004年7月23日	地域の学びの場 東北ツーリズム大学開校 企業と連携した遠野体感型合宿自動車免許開始
2011年3月12日	東日本大震災後方支援活動開始
2016年2月24日	認定特定非営利活動法人への認定

事業目的

認定 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワークは、遠野郷を主たるフィールドとしています。「資源を生かした都市住民との交流の深化と移住の促進」「伝統文化・芸能・技術・技芸の伝承と進化と応用」「里地・里山における循環的な生活スタイルの再興と実践」を柱に具体的な事業を行うことにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

クラスター組織　～草の根型組織の水平連携～

遠野グリーンツーリズム研究会　1995
つきもうしファーマーズネット　1997
あやおり夢を咲かせる女性の会　1994
パハヤチニカ編集委員会　1994
遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ　2001
かやぶき職人グループ　2002
伝統芸能団体　2002
NPO 法人遠野エコネット　2003
農事組合法人宮守川上流生産組合　環境部会　1998
遠野民泊協会　2006
宮守ツーリズム協議会　2005
東北まちづくり実践塾　2007
里山クラブ　やかまし村　2008
あくてぃぶまみ～　2004
MG 企画　2019

活動の概要

ワーキングホリデー

農家とともに労働し、食事をし、数日間滞在する金銭のやり取りのない農家の居候体験を通して、互いの楽しみや生きがいづくりを目的に実施しています。

東北ツーリズム大学

遠野をはじめとした、東北各地の「文化」「食」「交流」「旅」「地域」等の農の多面的な価値を広く共有し、それらを学びの場にするカリキュラムを毎年実施しています。

クラスター支援

里山・文化・暮らし・馬等の地域資源を活かした活動を展開する遠野市内の十数団体との協働での事業展開や各種サポート業務を実施しています。

旅の産地直売所構想

「ありのままの暮らしを味わうこと」を旅の資源とし地域住民や GT 実践者の他に多様な方々と連携し、食や暮らし、生業を強みにしたツーリズムを販売、造成していく構想

里地・里山保全・活用

住民自らが里地・里山の保全や整備、体験活動等を通して、循環的な生活スタイルの再興と実践を目的に実施しています。

農村民泊の推進

百数十件の遠野民泊協会会員と協働し、遠野の暮らしぶりを交流の資源とした民泊の推進と、農家民宿の立ち上げからサポートまでを実施しています。

遠野体感型自動車合宿免許

遠野ドライビングスクールや宿泊施設、各種体験施設と協働をして、合宿型自動車免許のカリキュラムの合間に農村民泊や馬や陶芸などの体験を提供するプログラムの実施をしています。

各種視察研修受け入れ

研修内容は、グリーンツーリズムや各種ビジネスを活かした地域づくり、復興応援としての後方支援の取り組み等が主です。また、旅行業第 3 種の旅行企画も実施しています。

東日本大震災復興支援

東日本大震災による被害を受けた地域などで、住民の自立支援のためのコミュニティづくりや起業支援、各種復興応援活動のサポートを実施しています。

地域づくり・起業サポート

岩手県内外のグリーン・ツーリズムやコミュニティビジネス等に取り組む地域の方々と共に地域づくりや起業のサポートを実施しています。

令和２年度を写真で振り返る

「自粛」の続いた１年でした。社会や個人の価値観が大きく転換した１年でもありました。だからこそ、「出来ること」を探求し、「準備」を図り、「大学生の現地活動」「オンライン」「市民向け企画」「被災地支援」に取り組みました。

開業準備　民泊開業６軒

新規開業 4 軒（奥寺晴夫さん、奥寺栄一さん、宮澤静江さん、菊池秀悦さん）、民泊新法から旅館業への切り替え 2 軒（菊池大司さん、打越義之さん）となりました。一般旅行者など営業活動として幅広い宿泊客を受け入れられます。コロナ禍だからこその準備として事務局も全面サポート。検討中の方が３軒います。開業を検討される方は

Hop farmer 宮（宮澤静江）

オンライン　GT 農泊講座＆東北ツー大同時開催

12月３日「コロナ禍での東北地方におけるツーリズム」と題し、農水省農泊推進室冨田室長や民泊による地域づくりを行う百戦錬磨上山社長の講話と山里初披露「オンライン生配信型ツアー」を 100 名参加で実施。

松林堂さん

オンライン配信の様子

オンラインと現地活動　遠野 GT× 被災地支援ツアー

10 年目になる法政大学ボランティアセンター主催の被災地支援活動を 11 月に数名の参加で実施しました。大槌町の市民交流施設おしゃっちでの草刈りや館内装飾などのボランティア活動と遠野のグリーン・ツーリズムを内容にした新企画を実施。3 月にはオンラインの被災地スタディツアーも現地 30 名、オンライン 0 名参加。2021 年度も実施予定です。

被災地ボランティア

研修準備　秋田藤里視察　11 月 4-6 日

2018 年～粕毛集落で 6 軒農家民宿と現地の NPO 法人が集落全体で交流事業を仕掛けている様子を 10 名で研修に行きました。２泊ゆっくりと秋田県藤里の民泊、体験、NPO の取り組みを学んできました。

農家民宿の外観

交流の様子

オンライン

山里ネットスタッフがインターネットで生配信をする企画を多く実施しました。被災地支援の一環として「遠野のひなまつり」と「フラワーアレンジメント」（松田生花店）を内容に陸前高田や大槌の方々約 50 名が参加しました。遠野を体感で来たと好評でした。

被災地支援　コロナ禍のコミュニティづくり

東日本大震災の被災地ではコミュニティの再構築が課題です。発災当時から支援をしている大槌町と陸前高田市の公営住宅や周辺住民を対象にサロン企画を社協や自治会と協働し実施しています。中止した企画は多くありましたが、手芸講習会、花壇整備活動、刃物研ぎ講座など地域内の講師を招聘し、コロナ禍でも開催できる方法を模索した 1 年となりました。県の補助や民間寄付を活動資金に 2021 年度も継続していきます。

大槌町の唐小物づくり

市民企画　地元を楽しもっキャンペーン！

10～12 月に遠野市民限定で「まちぶら」「さとぶら」の販売。参加者からは「前から行こうと思っていたので」「遠くに行かなくても十分楽しめた」等の好評価を得て、家族や子ども会、友人同士など計 300 名の参加がありました。2021 年度も実施を計画中です。

合宿好評　遠野自動車合宿免許好調

設立当初から遠野ドライビングスクールとの協働事業「グリーン・ツーリズム型合宿自動車免許」が令和 2 年度コロナ禍でも好調でした。生徒は事前検査を行い、各施設で感染症対策を行いながらの実施でした。体験メニューは自粛する期間もあり 33 人（前年比△136）、農泊 0 人（前年比△13 人）で減少傾向でしたが、合宿生は 471 人（前年比△56 人）でした。

被災地支援　なりわい支援

県内の団体と協働した県復興局の事業で「なりわいの支援」を実施ました。震災 10 年目の個人経営の事業者に寄り添いながら商工会と連携し、継続的かつ発展的な方法を一緒に模索しました。三陸沿岸の商品を集めたマルシェも「カワトク」「県内道の駅」で開催し、好評でした。スタッフも県内すべての会場で販売員をしました。

販路開拓講座

マルシェ

主な助成事業等の実績

1，遠野市委託事業　ツーリズム型交流推進事業　平成 15 年から継続
事業費　１，０９２千円～１，３００千円

2，農水省　農山漁村地域力発掘支援モデル事業平成 20・21 年
事業費　２，０６７千円～３，０００千円

3，経産省　農商工連携等促進人材創出事業　平成２０～２２年
事業費８，３６１千円～１１，３８８千円

4，農水省等　子ども農山漁村交流モデル事業　平成２０・２１年
事業費　９４６千円～３，０００千円

5，岩手県民参加の森林づくり促進事業　平成２０年～２２年
事業費　４３６千円～５４９千円

6．岩手県農山村活性交流拡大モデル構築事業　平成 20 年～ 22 年
事業費　４，６６２千円～７，４５３千円

7．経産省　ＣＢ、ＳＢ元気アップ事業　平成 23 年　事業費　２，３００千円

8．農水省　食と地域の交流促進対策事業　平成２３年～平成２４年
事業費　２，２００千円～２，５００千円

9．内閣府　復興支援型雇用創造事業　平成２４年
事業費　１４，０００千円

10．内閣府　復興支援型雇用創造事業　（平成２４年）復興六起
事業費　１４，０００千円（ふるさと回帰支援センターとの協働事業）

11．総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業　平成 25 年度
事業費　１４，０００千円（法政大学と遠野市の協働事業）

12．岩手県　GT 実践塾開催委託業務（複数年継続事業）
平成 28 年度～：1,017 千円

13．農林水産業みらい基金　農林水産業みらいプロジェクト
平成 30 年～３か年　：9,950 千円年

14．岩手県　被災者の参画による心の復興事業費補助金　令和２年 2,545 千円

15．岩手県　ＮＰＯ等による復興支援事業費補助金　令和２年２，５２０千円

2020年度を数字で振り返る

○遠野民泊協会　…　136 軒（±0）
○農村型ワーキングホリデー　…　参加：0人／日（-10）、受け入れ：3 軒（±0）
○遠野ドライビングスクール　…　合宿生参加者：471人（▲56）　内 GT 体験者数 33 人（▲136）
○農村民泊体験者数　…　延べ 26人（▲1,382）　内外国人 1人（　▲47）
　内体験型教育旅行　…　民泊校数：2校　（大学ゼミ含む）（▲13）、生徒数：延べ 9人（▲682）
○東北ツーリズム大学　…　実施回数：1 回（±0）、参加者：延べ 100人（+35）
○被災地のコミュニティ作りのための交流活動：219 回（+46）
　（編み物・お茶っこ・お花見・演芸演奏・染物・果実収穫等）
○視察受け入れ回数　…　0　回（▲24）(事務所等での講話を主な内容にした対応の回数)
○メディア掲載回数　…　2　回（▲8）

※（）は前年度対比